
今　日　の　力

2025年10月27日～11月2日

翻訳 岡元 裕子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

10月27日(月)

あ　わ　れ　み　深　い　イ　エ　ス　様

聖書朗読 マルコの福音書 8：1～13

それゆえ、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者として、あなたがたは深い同情心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。 コロサイ 3：12

マルコ8章には、イエス様の教えを聴くために三日間イエス様とともにいた、およそ4千人の人々に、イエス様が食事を用意されたという出来事が記されています。マルコ6章にも、イエス様が男だけでも5千人の群衆のお腹を満たされたことが記録されていますが、8章の出来事はそれとは別のことです。イエス様の行われた奇跡の大きさにも驚きますが、イエス様の情け深さにはもっと驚かされます。マルコはどちらの場合でも、私たちがイエス様のお気持ちを洞察することができるような記述をしています。イエス様は『かわいそうに』（2節）と言われたのです。

イエス様は4千人とか5千人とかの群衆をご覧になっていたではありませんでした。イエス様が見ていらしたのは、空腹で弱っている一人一人の人でした。イエス様には、彼らの肉体的 requirement を満たすことが、靈的必要を満たすのと同じくらい大切であることが分かっていました。

同情という言葉を“あなたの痛みを私の心で感じること”と定義した人がいました。“人はあなたがどれだけ心配しているかを知つて初めて、あなたが分かってくれることに気付く”という言い方を聞いたことがあるでしょう。それがあわれみというものです。

あわれみは、例え、座って話に耳を傾けること、食事をご馳走すること、初めていらした人に一緒に座ろうと誘うこと、外出できない人を訪問することなどによって表すことができます。危機にある誰かを助けることで、イエス様の手足になります。

讃美歌第二編 157 この世のなみかぜさわぎ

祈り 主よ、私の目を開けて、あわれみを示す機会を見させてください。私の心を開き、喜んで他の人の必要を満たすことができるようにしてください。もっとイエス様のようになれますように。イエス様の御名により。アーメン。



テネシー州 ヘンダーソン／ローズマリー・マックナイト

10月28日(火)

プライドという落とし穴

聖書朗読 マルコの福音書 9:30~37

それから、イエスは弟子たちに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。

マタイ 16:24

以前、主にある愛すべき姉妹が好意からこう言ってくれました。「アディさん、人々があなたに注目するように、もっと前に出ないといけないわ。」私がもっと仕事をできばきとこなす教会のリーダーになれるよう、彼女は助けようとしているのだと分かっていましたが、私が思ったのは以下ののみことばでした。『なぜなら、だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるからです。』(ルカ14:11)

高慢はサタンが仕掛ける罠で、それにかかる者が大勢います。私たちは尊敬されたり称賛されたりすることを望み、自分はかけがえのない存在だと感じたいものです。使徒たちですら、だれが一番偉いかと論じ合っていました。イエス様は弟子たちに言われました。『だれでも人の先に立ちたいと思うなら、みなのしんがりとなり、みなに仕える者となりなさい。』(マルコ9:35)

神様の目には、いつも人々に仕えている貧しい内気な未亡人の方が、プライドいっぱいの雄弁な説教者よりも偉大に映るでしょう。イエス様こそ謙遜の模範たるお方です。『キリストは…ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。』(ピリピ2:6~9)

ご自分を卑しくされたイエス様こそ高く上げられた私たちの主です。イエス様の例にならいましょう。

讃美歌第二編 198 おのが十字架を

祈り 全能の主よ、私たちの罪の負債の返済のためにイエス様を送ってくださってありがとうございます。イエス様が自らを低くして、私たちの代わりに死んでください、私たちを王の王イエス様の子どもとして高く上げてくださったことを感謝します。イエス様の御名によってほめたたえます。アーメン。

オレゴン州 グレシャム / ディック・アディ

10月29日(水)

試みに打ち勝たれたイエス様

聖書朗読 マルコの福音書 11:1~11

私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでしたが、すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。

ヘブル 4:15

今日の箇所は、マルコがイエス様のエルサレム入城について記しています。しかし、ここには、イエス様のご生涯のこの転機に大勢の人たちから浴びせられた賛辞によって、父なる神様のみこころを成し遂げようとするイエス様の決意が揺らいだなどということは書かれていません。でも、上に引用したヘブル人への手紙の聖句を見ると、私たちほとんどが短期間だけ有名になって喜ぶように、イエス様も人気絶頂にあって試みに会われたかもしれませんと思いたくなります。

エルサレム入城の数日前、イエス様は『エルサレムに行こうとして御顔をまっすぐ向かれ』たとルカ9:51にあります。そのご様子からは、イエス様が、今、ご自分が置かれている状況で起りうることを想い、十字架に架かるという決意が激しく試されたかもしれません。イエス様はなぜ人々が望んだ地上の王になることを承諾されなかつたのでしょうか。なぜ十字架を回避されなかつたのでしょうか。

答えは簡単です。あなたのため、私のためです。イエス様が簡単な方法を選ばれたなら、私たちは罪のうちに生き死ぬことになったでしょう。イエス様があらゆる思いを捨てて考えていらしたのはそのことでした。イエス様はおっしゃいます。『わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。』(ヨハネ10:10)

イエス様、試みに打ち勝ってくださって、ありがとうございます。

聖歌 614 くっするなけれ

祈り 主よ、私たちも時折、仲間の賛辞を受けることがあります。試みに屈することなく、イエス様のように、自分の使命を全うさせてください。救い主イエス・キリストのお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / ケイ・バーナム・エバンズ

10月30日(木)

誰の肖像が押されていますか

聖書朗読 マルコの福音書 12:13~17

神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。

創世記 1:27

ユダヤ人の指導者たちはイエス様をわなに陥れようとして、ローマ帝国に税金を納めることに関して質問しました。イエス様は、『カイザルのものはカイザルに返しなさい。そして神のものは神に返しなさい。』とお答えになりました。イエス様のお答えは単なる政治上のものではなく、はるかに深い意味がありました。

イエス様がおっしゃったことの本質は、「カイザルの肖像があるローマのデナリ銀貨はカイザルに返しなさい。」ということでした。当時のユダヤ人はローマの支配下にあったので、ローマの法律に従わなければなりませんでした。でも、神様のかたちが私たちに押されているなら、私たちの心も、優先順位も、人生そのものが、神様のものです。（それは時の権力者に左右されるものではありません。）

私はテキサス州の住民ですが、キリストにあって生きています。私の国籍は天にあります。（ピリピ 3:20）私の優先順位は、政治や社会問題によってではなく、神様のみこころによって決まります。私が神様のかたちであるなら、私の人生は、犠牲、愛、赦し、誠実、善意に満ちた神様を映すものとなるでしょう。神様のかたちそのままであられるイエス様にいよいよ似た者になるでしょう。（コロサイ 1:15）

私は日ごとに、「私のライフスタイル、決定、優先順位に押されているのはだれの肖像か」と自問しています。

讃美歌 339 君なるイエスよ

祈り 天のお父様、私があなたのかたちに造られているとは驚くべきことです。あなたの肖像を押された者として生きられるようにお導きください。あなたのご性質と優先順位に気付かせてください。イエス様のお名前によって。アーメン。



テキサス州 ラボック／リサ・ラングフォード

10月31日(金)

もうちょっとだけ

聖書朗読 マルコの福音書 12:41~44

ひとりひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は喜んで与える人を愛してくださいます。

コリント II 9:7

昔、ジャマイカで、献金を集めるお皿に1ドル札を置いたら、私の周りのみんながびっくりして息をのむのが聞こえました。そんなにたくさんのお金を献金するなんて、さぞかし大金持ちに違いないと地元の人たちは思ったようです。

今日の聖書朗読箇所で、イエス様は献金箱に向かってすわり、人々が献金箱へ金を投げ入れる様子を見ておられました。多くの金持ちは大金を投げ入れるのをご覧になりました。でも、イエス様が注目されたのは、小銭二枚だけ、レプタ銅貨を二つ（訳注：300円弱）投げ入れた貧しいやもめでした。その金額では雀一羽も買えません。（ルカ 12:6によると、五羽の雀は15レプタ、1羽、約3レプタで売られていました。）

でも、イエス様は彼女をお褒めになりました。金額ゆえにではなく、心から献げたからです。彼女はあるだけを全部献げました。あり余る中から献げた金持と違って、彼女の献げ物は大きな犠牲と心からの信仰によるものでした。

神様は献金の額ではなく、献げ物に込められた心を喜ばれます。私たちも喜びと感謝と信頼をもってお献げいたしましょう。

聖歌 604 のぞみもきえゆくまでに

祈り 神様、心をあなたに留めておけるように助けてください。私たちが持っているものはすべてあなたのものであることを知り、いつも喜んで与えることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。



テキサス州 ナカグドーチェス／デビー・ハリソン

11月1日（土）

もしもそうだったら

聖書朗読 マルコの福音書 14:32～42

どうか、平和の神が、あなたがたすべてとともにいてくださいますように。アーメン。

ローマ 15:33

若い頃は後悔なんて何とも思っていませんでした。昔、こうしていたら、違っていたかも知れないのにと思うなんて、建設的な力を無駄にしているように思いました。年を取つてみると、やり直したいと望む気持ちが理解できるようになりました。でも、仮に、私たちの最大の祝福につながった事が起こらなかつたら、どうでしょう。かつこいい靴を履いている、あの可愛い男の子が、西洋史のクラスで私の隣に座つて、流暢なイタリア語で私をうつとりさせなかつたら、どうなつていたでしょう。私は彼との結婚でたいへん祝福されました。

私たちには自分が選んだ選択とその結果に責任があるのは明らかですが、同様に、人生が展開していく上で多くの場合、私たちには決定権がないのも明白です。私の“決定権”は、自分が招いた事態かどうかにかかわらず、人生の境遇に私がどう反応するかに懸かっていると、私はいつも意識しています。神様はご自分の約束に忠実であられ、私たちが愚かな選択をしても赦してくださいます。私たちが後悔の力や、“もしもそうだったら”と思ひ悩む混乱に打ち勝てるよう助けると約束し、その約束を果たしてくださいます。

人となられた神であられるイエス様が、ゲツセマネの園で、私たちには到底わからないほど、恐れもだえられたことを思います。でも、イエス様は父なる神様を信頼し、“もしもそうだったら”や“こうだったら”という気持ちをすべて抑えられました。『あなたのみこころのままを、なさつてください。』とイエス様は祈られました。私もそのように祈りたいです。

讃美歌 133 夜はふけたりぬ

祈り お父様、与えられた恵みを数えてみて、あなたが叶えてくださった祈りも、あなたが退けられたすべての祈りも感謝します。私にはわからない、でも私の人生を祝福するように、あなたが今導いてくださっている道筋を感謝します。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 サウザンド・オーツ / ペギー・パウナル

11月2日（日）

たつた一人の観衆

聖書朗読 ルカの福音書 4:22～30

そのためには、主に喜ばれることが何であるかを見分けなさい。 エペソ 5:10

イエス様は人々を知っておられます。私たちの考え方、行動の裏にある動機、人間性を理解されています。何と言っても、イエス様は神様であり、私たちを創造された方ですから。人々が今誰かをほめたと思ったら、次の瞬間、その人を崖から投げ落とそうとするということもわかつていらっしゃいます。イエス様は私たちの気持ちの変わりやすさをご存じです。

そういうわけで、イエス様は地上でのご生涯の間、ご自身を人々にお任せになりませんでした。（ヨハネ 2:24～25）イエス様は、人々を喜ばせようとして、宣教活動の代わりに奇跡や癒やしのわざを行うようなことはなさいませんでした。イエス様のおっしゃること、されることすべてのただ一つの目的は父なる神様を喜ばせることでした。（ヨハネ 8:23～29）

私たちはどうでしょうか。日々、家庭で、社会で、教会で、選択する時、私たちは人を喜ばせようとしていますか、それとも神様を喜ばせようとしていますか。昔、友だちに言われたことがあります。私たちはすべてのことを、たつた一人の観衆、神様のためにするべきだと。大事なのは父なる神様のお考えだけです。私たちが神様を喜ばせる選択をすれば、他の人が喜んでも喜ばなくても、良い正しい選択をしたことになります。ですから、今日、主を喜ばせることは何かを見つけて、その通りに実行しましょう！

讃美歌第二編 93 わがよろこび

祈り 主よ、今日、生きて行く上で、あなただけに従い、あなただけを喜ばせができるように助けてください。キリストの御名によって祈ります。アーメン。



テキサス州 ラボック / ジャン・ノックス